

バラの株元加温による 高品質・安定生産への取り組み

果樹花き研究部

冬期のバラ栽培は、従来より加温機を用いて温室内全体を暖めることにより生産性を維持していますが、重油価格が高騰すると暖房経費の負担が大きく、経営を圧迫します。

そこで、温室内全体を暖めるのではなく局所的に株元部分のみを加温し、高品質な切り花の採花、安定した生産性の確保を可能とする技術開発に取り組んでいます。

栽培システムは、高設ベンチ上に定植したバラ苗を挟み込むように温湯パイプを設置し、アーチング仕立てにて栽培を行います。温湯パイプには、30℃程度に暖められた温水を循環させます(図1)。

室温18℃‘ローテローゼ’を用いた試験では、到花日数が4日ほど短縮され、切り花長は10cm長く、高品質な切り花の比率が増加しました(図2)。

今後も、このシステムを利用して、石油消費量削減を目指したバラ生産技術の開発に取り組んでいきます。

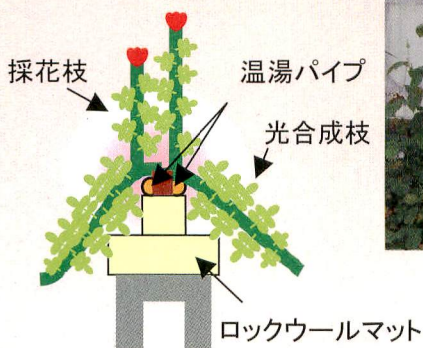


図1 株元加温の方法
(特願 2008-293654)



図2 株元加温の効果
左側:通常栽培 右側:株元加温

第51回 科学技術週間における 施設公開のお知らせ

企画調整部

神奈川県農業技術センターでは、文部科学省の制定する「科学技術週間」にあわせて施設を公開します。この機会に皆様お誘い合わせの上、是非ご来所ください。

日時：平成22年4月16日(金) 10:00~15:00

17日(土) 10:00~15:00

場所：神奈川県農業技術センター

内容：研究施設の公開、成果の展示、公開講座、研究ほ場の見学、かながわ農業検定クイズ、園芸相談、スタンプラリー、野菜残さの堆肥配布(数量限定)、生産物の販売など

公開講座

16日(金) 11~12時 「トマトとキュウリのウイルス病」

17日(土) 11~12時 「野菜新品種育成技術の実際」

※当日受付で、参加費は無料です。お気軽にご来場ください。



昨年度の様子